

### 3) 御明神地区



#### I ■ 地区の将来像 (20年後に実現したい姿)

#### 里山と清流のもと 人と人が紡ぎ合う 理想郷・御明神

御明神地区には、JR春木場駅、赤渕駅、道の駅があり、地区内交通の起点があります。また、竜川、田園風景、各地の植物や名木など、豊かな自然とそれを活かした産業、歴史、町内唯一の花火大会がある御明神夏まつりを継続・発展させます。

#### II 人口の予測

御明神地区の人口は、2015年現在2,524人で、町の15%を占めます。そのうち65歳以上の高齢化率は38%であり、町内で最も高い割合となっています。このまま推移した場合、10年後の2025年には2,127人、2040年には1,580人まで減る予測です。特に働く世代（15-64歳）が著しく、減少します。

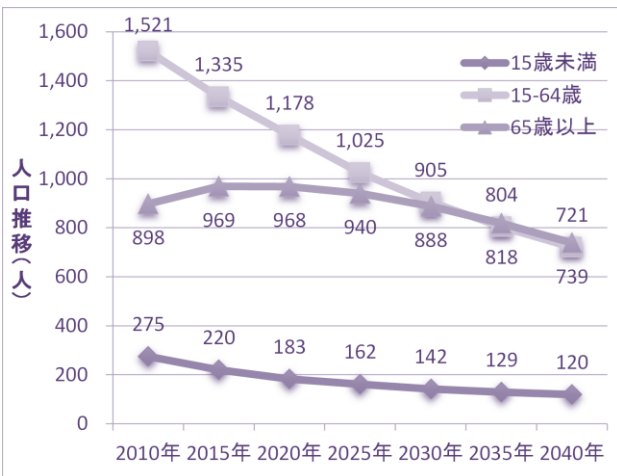


図 御明神地区の将来人口（推計）

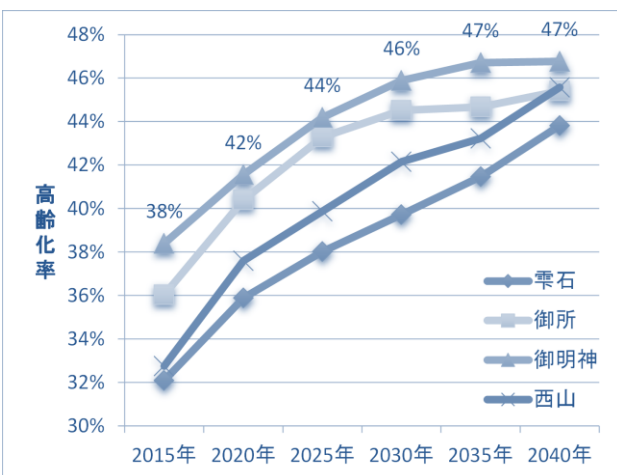


図 高齢化率の推移（推計）

#### III 地域の特性と現状

##### 1. 地域の特徴

- ・農業への就業者が多く、水稻を中心に、畜産、野菜栽培などが行われ、森林資源も豊富にあります。
- ・2010年の国勢調査によると、地区の就業人口割合は第1次産業が32%、第2次産業が19%、第3次産業が49%です。
- ・竜川や田園風景などの自然的資源や景観スポットが豊富にあり、旧秋田街道や神社、伝統芸能など歴史的資源が残されています。
- ・22の行政区があり、世帯数は一番少ない行政区で約15世帯、多い所で約70世帯となっています。
- ・交通環境としては、地域内に鉄道路線が走っており、JR春木場駅、赤渕駅があります。また、これに沿って地域内を国道46号が横断しています。そのほか、あねっこバスが運行しています。
- ・子育て、教育環境としては、地区内に橋場小、御明神小の2つの小学校がありましたが、平成30年4月に統合し、御明神小学校の1校になりました。また、保育施設は、御明神保育所、橋場へき地保育所の2カ所あります。
- ・橋場には、「道の駅」があり、温泉、キャンプ場、産直を備えた複合施設として町内外の多くの人に利用されています。

##### 2. 地域の活動・行事

- ・御明神夏まつりは毎年8月16日に開催され、

町内唯一の花火大会や舟っこ流し、盆踊り大会が催され、地域内外から多くの人を訪れます。

- ・地域によっては厄病まつりやしめ飾りづくり、ほうきづくりなど、昔からの農村生活の風習が引き継がれています。

## IV 地域の強みと弱み

### 1. 地域の強み

- ・上和野馬頭観音堂、多賀神社の姥木（杉）、横欠のからかさ松などの文化財が守られ、伝えられています。
- ・御明神地区を流れる竜川は鮎釣りのスポットであり、河川公園は地域外の人も利用する憩いの場です。わき水や景観スポット、新幹線の撮影スポットが多数あります。
- ・地区ごとに、地域伝統さんさや季節の行事が引き継がれており、子どもからお年寄りまでが参加して行っています。
- ・多機能施設でもある道の駅があり、休日などは温泉利用者や産直施設への買い物客でにぎわっています。
- ・春木場を中心に日用品を販売する昔ながらの商店が、地元の人に多く利用されています。
- ・地産地消レストランや食堂、コーヒー店など特色ある飲食店も増えてきています。
- ・御明神夏まつりは、花火が打ち上げられることから、地域内外から多くの人を訪れます。

### 2. 地域の弱み

- ・釣りスポットや温泉などがありますが宿泊施設は少なく、商店はあるものの、買い物ができる場所が少なく、世代間交流ができる場が限られ不足しています。
- ・地域が広く、交通の便が限られているため、車移動がほとんどです。また、春木場駅にはスロープがなく、全ての人が利用しやすい施設になっていません。
- ・街灯が少なく、夜道が暗いため、安全面に不安があります。
- ・農業が基幹産業ですが、農業に従事する人が高

齢化しています。また、その他の働く場所が限られ、若い世代は地域外に働きに出ています。

## V 解決したい課題

### 1. 世代間をつなぐ人材と活動の場の不足

地域の行事は通年行われているものの、ライフスタイルの変化により、特定の世代だけが参加するなど、世代間の交流が少なく地域のつながりが弱くなってきています。

それに伴い、役のなり手が不足し、一部の人に負担が多くかかっているため、役の見直しが必要となってきました。

そのため、世代間をつなぐけん引役となる人材の育成や活動の場の創出が望まれています。

加えて、地域内の空き家や街灯のない夜道など、防犯面における不安を増しています。

また、御明神地区には子育て家庭を支援する子育てボランティアがいないため、地域における子育て環境の充実が求められています。

### 2. 歴史スポットのPR不足

御明神地区には、誇れる地域財産として多数の歴史スポットがありますが、その歴史スポットの環境整備は特定の個人が行うことが多く、その個人の負担が大きいことや、情報発信が十分に行われていないことから、訪れる人が少ないことが課題となっています。

### 3. 自然とふれあう機会の減少

御明神地区は、自然的資源や景観スポットなどが豊富ですが、これらを活用しきれていないことや周知されていないことなどから、将来これらの資源の価値が希薄となる懸念があります。

また、これまで先祖代々の生活を支えてきた竜川をはじめとする清流や里山などの自然環境とふれあう機会が少なくなっており、水源涵養や農林業などの生業、または防災といった自然環境の多面的な機能を学ぶ機会が少なくなっています。

#### 4. 農業者の高齢化と就業場所の不足

町の基幹産業である農業に従事する人々の高齢化が進んでいます。一方で、大規模経営や他業種との連携で成功している事例もあり、地域一体となって農業を盛り上げていく必要があります。

#### 5. 魅力の発信不足

御明神は、雫石町で唯一花火大会が開催されているほか、道の駅や魅力的な飲食店も多くあります。

しかし、宿泊施設が**少ないこと？**や、花火大会などのイベントが地域内向けとなってしまっている傾向があり、地域外から訪れる人にもっと楽しんでもらうための工夫や魅力を伝えるための積極的な情報発信が必要です。

## VI 活動メニュー

地区の将来像を実現するために想定される方針や取り組み内容は次のとおりです。

生活	<b>方針1. 各世代のつながりを強め、いきいきと暮らせる地域をつくる</b>
----	---

#### ① （子育て世代？）からのつながり発信

**（子育て）世代？**が子どもとお年寄りのパイプ役となり、世代を問わず親しめるような情報や活動を提供することで、世代間のつながりの強い地域にします。

- 子育てに関する話し合いの場の創出
- 子育てボランティア人材の発掘
- 花壇の維持管理を通じた世代間交流
- 御明神地区運動会の復活
- **若者たちが繋がるための組織作り？**

#### ② 子ども・お年寄りが集える場の創出

豊富な知恵や技術を持ったお年寄りを「匠」とし、地域の伝統・文化を子ども達に伝える場をつくり、各世代の生きがいや楽しみを引き出すことで、お互いに心豊かな関係性を築き、顔が見える

付き合いのできる地域にします。

- 交流の場としての空き店舗や御明神公民館の活用
- 地域の「匠」の発掘・活躍の場の創出（子ども会活動にお年寄りを巻き込むなど）
- 御明神産直市・手づくり市の開催
- **多世代誰もが気軽に交流できるイベントの開催**
- **誰もが参加できるスポーツ行事の開催**

#### ③ 地域の安心力向上

スクールガードの継続実施や、定期的な地域点検の実施により、地域内の見守り体制や避難場所を整え、危険個所の把握、注意喚起を強化し、誰もが安心して生活できる地域にします。

- スクールガードの体制の見直しと継続
- 災害伝承マップの作成
- 雪捨て場の確保、共有
- あねっこバス停留所の風除室設置

歴史	<b>方針2. 住民が地域の宝を守り、伝える</b>
----	----------------------------

#### ① 誰でも気軽に来られる歴史スポットづくり

「誰でも気軽に」来られるように、豊富な歴史資源を活かしたイベント開催を行い、地域内外から集まった人々の交流が活発になるようにしていきます。

- 歴史散策ルートの整備
- 神社のお祭りや橋場関連イベント

#### ② 保存活動を通じた地域内交流の活性化

地域住民が今ある地域財産の環境整備や伝承活動を行うことで、地域内の交流を活性化させるようにしていきます。

- 歴史スポットの環境整備
- 地域の伝統文化の継承

自然

**方針3. 自然の魅力を再確認し、  
地域内外に情報を発信する**

**①観光サインの設置と景観スポットのPR**

景観の良い場所に看板などの観光サインの設置やチラシ、マップによる景観スポットのPRを行い地域の資源を見つめ直していくとともに新たな魅力も創り上げながら御明神の自然と景観にマッチした地域づくりを進めていきます。

- ▶ こまちの撮影スポットPR
- ▶ 景観良いとこ立ち寄りプラン・チラシ・マップ作成
- ▶ 御明神十景の選定

**②御明神ならではの自然とふれあう環境づくり**

竜川をはじめとした清流、御明神を囲む山岳美、また、これらの自然環境からの恩恵は、祖先から贈られたものであると同時に子孫からの預かりものであり、豊かで恵まれた自然環境を将来へ引き継いでいくため自然と親しむ環境づくりを進めていきます。

- ▶ 四季を通じた御明神の自然を親子で楽しむ学習の場づくり
- ▶ 竜川河川公園の環境整備（ゴミ拾い、草刈りなど）
- ▶ 川魚の特産品開発

産業

**方針4. 農業などの働く場としての  
魅力を高め、活力ある地域をつくる**

**①魅力ある農業の発信**

若者が魅力を感じ、働きたいと思う農業の魅力を発信するとともに、若者の就業を支援し、定住を促進していきます。

- ▶ 新規就農者の受け入れ支援
- ▶ 若い農家での就業体験の実施

**②働く場としての魅力発信**

地域にある企業や産業の魅力を様々な交流の機会を活用しながら発信し、若者の就業及び定住を促進していきます。

- ▶ 地域イベントを活用した町内企業のPR

交流

**方針5. 御明神の特色を生かした  
活力ある地域をつくる**

**① 夏まつりの継続・発展**

御明神のメインイベントである夏まつりの楽しさをさらに磨いていき、地域内外に広く発信することで、交流人口の増加を図るとともに、子どもからお年寄りまで活気のある地域にしていきます。

- ▶ 学生や若者を巻き込んだ夏まつり開催
- ▶ 花火観賞用の寝そべりポイントやテント設置場所などの整備
- ▶ 新規スポンサー企業の募集・PR
- ▶ お祭りの賑わい・意味（意義？）を学び伝える仕組み作り

**②魅力を広めて交流・定住促進**

自然や農業などの資源を広く発信し、地域内外の人に御明神ならではの価値を知ってもらうことでたくさんの方が訪れる地域にしていき、移住や定住につなげていきます。

- ▶ 雪を生かしたイベント開催（婚活イベントなど）
- ▶ グリーンツーリズムの推進（共通の食事メニューの開発）
- ▶ 飲食店のPRになる参加型イベントの開催
- ▶ 厄病まつりの伝承

見直し

**方針6. 地域の役と行事を見直し、誰もが関われるまちづくり（仮）**

**①事業や行事 役のスリム化**

行事を行う際の役の負担を減らし、誰もが関われる様に行事の見直しを行います。誰もが楽しみながら役を持ち、次世代育成を行い、一部の人の負担を減らすよう取り組んでいきます。

- ▶ 区長の負担を減らし、役や組織機能の見直し
- ▶ 行政区を超えた連携と交流
- ▶ 行事を見直しし、棚卸をみんなで行い、行事を絞る

▶ 役の仕事の見える化

② 行事への参加者不足

ライフスタイルの変化から、行事に参加できる人が減少しているため、行事の開催日時の検討や行事そのものの開催方法、行事の組み合わせを工夫するなど、誰もが参加しやすい開催方法を検討する他、参加周知方法を工夫するなど、取り組んでいきます。

- ▶ いつでも誰でも参加しやすい、気軽な場作り
- ▶ 軽く顔合わせできる交流の場作り
- ▶ 在住だけではなく、出身者へも声かけをし関わりを増やす
- ▶ 行政区合同など、地域をこえた行事の開催